

山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

<認知症対応型共同生活介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	0670100940
法人名	株式会社 東北医療福祉システムズ
事業所名	グループホーム やすらぎ苑山形
訪問調査日	平成 20年 10月 16日
評価確定日	平成 20年 11月 17日
評価機関名	株式会社 福祉工房

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0670100940
法人名	株式会社 東北医療福祉システムズ
事業所名	グループホーム やすらぎ苑山形
所在地 (電話番号)	山形県山形市松波町一丁目11番8号 (電 話) 023-625-0661

評価機関名	株式会社 福祉工房		
所在地	宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘6丁目149		
訪問調査日	平成20年10月16日	評価確定日	平成20年11月17日

【情報提供票より】(平成20年9月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 13年 1月 4日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.6人(1ユニット)	

(2)建物概要

建物形態	併設 (単独)	新築 (改築)
建物構造	木造モルタル 造り	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000 円	その他の経費(月額)	17,000円(別途暖房費)
敷 金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(63,000 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり	1,000 円	

(4)利用者の概要(平成20年 9月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	7 名	要介護2	5 名
要介護3	5 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢	平均 83.6 歳	最低 59 歳	最高 92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	山形厚生病院、日下部歯科医院、相馬脳神経クリニック
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者が元気で積極的に役割を持ち、入居者同士が思いやり、支えあっている事業所である。地域との関係も事業所主催でラーメンの出前などの計画をして、地域の人達との交流関係を作り、地域の資源となるように活動している事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
①	指摘項目に関して改善計画を作成、具体的な取り組みが行われている。これをもとに管理者、職員がサービスの質の向上に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
②	自己評価は全職員が一旦目を通し、意義を理解してもらった上でリーダーがまとめている。改善点に関してはリーダーと管理者がミーティングを行い改善に向けた検討を行っている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
③	今年3月、7月、9月と開催、利用者、家族会、町内会長、地域住民、包括支援センターの参加のもと、事業所のサービス向上の為に意見を貰っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
④	家族会、面会来訪時、電話連絡の時等、家族との接触の機会があるときは必ず意見を伺うようにしている。又、10月より相談員制度を設けたことに関しても、家族に報告。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
⑤	ボランティア(ダンス、歌)の訪問もあるが事業所が地域住民を対象に「茶話会」を開催しており、これに町内、近所のデイサービスの人達の参加を通じ地域との交流を行っている。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	管理者が10年前に作った「利用者が地域の中で楽しい生活を送る」という独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が基本とするところとして毎朝唱和し、常に念頭におかせるようにしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティア(ダンス、歌)の訪問もあるが事業所が地域住民を対象に「茶話会」を催しており、これに町内、近所のデイサービスの人達の参加を通じ地域との交流を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員が一旦目を通し、意義を理解してもらった上でリーダーがまとめている。改善点に関してはリーダーと管理者がミーティングを行い改善に向けた検討を行っている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年は3月、7月、9月と開催、利用者、家族会、町内会長、地域住民、包括支援センターの参加のもと、事業所のサービス向上の為の意見を貰っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	10月より介護相談員を受け入れることになり、これを通じて行政との連携を深める予定です。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に1回「千歳会通信」を発行、家族に生活の状況、預り金の明細の報告を行っている。又、1ヶ月に1回程度は利用者と家族で電話で会話をさせていただくようにしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会、面会来訪時、電話連絡の時等、家族との接触の機会があるときは必ず意見を伺うようにしている。又、10月より相談員制度を設けたことに関しても、家族に報告している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を重視しており、ユニット間の交流もあり、職員と利用者はほとんど顔見知りとなっており、異動が発生した場合でもフォローできる体制となっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数を考慮して、職員個々人にあった外部研修に参加してもらい、研修後はミーティングで報告を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	山形県グループホーム協議会に参加、又、山形市のグループホームの監事会に入会している。相互評価にも参加して交流の機会を設けている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑仕事、調理、清掃、裁縫の家事は利用者よりアドバイスをいただきながら取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	機能面でのアセスメントはあるが、思いや意向は職員と家族の話し合いの中で引き出しており、アセスメントとしてはやられていない。	○	より正確に思いや意向を把握する為にも、又職員共通の情報を得る為にもアセスメントシートの活用を望まれる。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族からはケアプラン確認の時に要望を聞いて職員のミーティングの時に話し合い作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一回の見直しを行っている。急変時、状態の変化が見られた場合は随時計画を見直している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	【小規模多機能型居宅介護のみ】 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	継続してかかりつけ医を受診している方もいるが、事業 所の隣の医院が協力医院ということもあり家族の希望で 変更する人もいる。緊急時は昼夜を問わず往診してく れている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき るだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	現在は経口摂取困難、呼吸困難の方は受け入れ困難 と家族には話している。ターミナルケアに関する指針、 入苑者、終末時に於ける覚書、確認書を作成し関係者 で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをし ていない	人前で恥ずかしい思いをしないように十分配慮した行 動や言葉掛けをしている。適切でない言葉使いにはそ の都度気づくようにその場で指導している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の希望に沿えるように針仕事や清掃、演奏、犬の 散歩等を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事、誕生会等には利用者の希望を聞き献立に取り入れている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には週二回、午後の時間帯となっている。必要に応じシャワー浴などを薦めている。冬は入浴剤を入れ香りを楽しんでもらうようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物整理、清掃、盛り付け、農作業と積極的に自分の役割を持っている。絵、書、歌、ハーモニカ演奏等も職員と一緒に楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は日光浴や、散歩、ドライブ、買い物等森林浴や自然にふれることを出来るだけ取り入れ実施している。又今年は松島への旅行を楽しんでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	玄関の施錠は午後7時から朝6時までとし、それ以外の時間は施錠していない。玄関の見守りを徹底している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練、通報訓練は月15日と30日に計画。防火・防災訓練は今年度は消防署と地域協力者にも参加してもらい実施している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	2週間ずつ職員が担当で献立を作っている。水分、お茶はいつでも要望があれば支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感ある花、書等を廊下や食堂に展示している。二階の共用空間はとても日当たりが良く、ゆったりとしており居心地の良さを感じさせる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋、馴染の物や興味の展示をして個性あふれた居室となっている。		